

大学生が運営、指導 小学生サッカー大会

美浜で日福大杯

日本福祉大学杯少年サッカー大会(中日新聞社後援)が22日、美浜町奥田の日本福祉大であり、寒空の下、小学生が元気よくピッチを駆けまわった。

子どもたちの交流や技術向上を図ろうと開き、17回目。地域貢献として大学サッカー部の学生が、運営や児童の練習パートナーを務めた。合宿で地域を訪れている強豪の筑波大蹴球部(サッカー部)部員も技術指導に加わった。

町内の河和JFCなど愛知、岐阜、静岡の3県から10チームが出場。5チーム

懸命にボールを追いかける子どもたち。美浜町奥田の日本福祉大で



ごとのリーグ戦を勝ち抜いた上位2チームずつが、決勝戦と3位決定戦に臨んだ。冷たい風が吹く中、20分の試合を最大で5戦するタフな日程だったが、子どもたちは対戦相手とのゲームを存分に楽しんでいた。